

2022JR総連青年協議会 単組間交流を開催



2月13日、目黒さつきビル会議室において2022JR総連青年協議会単組間交流を開催しました。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から1日開催とし、リモートを併用して開催しました。

JR総連八幡書記長からの講演と菊地幹事（JR北海道労組青年部長）からの問題提起を受け、全体討論で議論してきました。

21春闘総括では、各単組から「赤字だから仕方ないという意識を転換し、いかに組織力を強化していくかが課題」「労働者意識を持った仲間づくりが重要」等の現実が出され、JR東労組青年部でも同様の課題だと感じました。

また、「事故や事象に対して、職場では未だに責任追及が行われている」「組合が求めないと議論出来ない会社」等、安全軽視の経営姿勢やグループ会社への責任転嫁について、「安全問題の議論をつくり出せるのは労働組合しかない」ことを、参加者全員で一致しました。

JR東労組青年部は、22春闘のたたかいにおいても「統一要求・統一闘争」にこだわり、JR総連の仲間と連帯し職場の仲間と要求満額獲得に向けて実践していきます！

青年部の実践で2022JR総連春闘勝利と
組織強化・拡大を勝ち取ろう！

